

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2014-09-01

No. 57



株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation
〒516-2102 三重県度会郡度会町大野木 3571 番地 2

本社・大野木事業所

<http://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary	2
IEC: 規格解説: IEC 61000-4-5 Ed. 3.0 (2014-01) サージイミュニティ試験	3
IEC: ビッグデータ、大きな未来: 新たな ISO/IEC JTC1 研究グループ設置	8
IEC: 新規格リスト	10
ISO: 新規格リスト	13
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲	14
USA: FCC: KDB: 機器のラベル表示及びユーザ規則情報を提供するガイダンス(2/3)	16
USA: FCC: Part 15: 免許不要パーソナル通信サービス機器 UPCS: ANSI C63.17-2013	18
USA: DOT: NHTSA: 連邦モータ車両安全規格: 車両 - 車両 (V2V) 通信	19
USA: DOE: EPA: エネルギースター最高効率プログラム	20
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知	21
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	22
USA: IEEE: 新規格リスト	23
EU: 新三指令 EMC 指令、低電圧指令、無線機器指令 比較表、一部抜粋	24
EU: R&TTE 指令傘下の製品に対する EMF 要求事項に関するガイダンス: TGN 17	28
EU: R&TTE 指令: 機器のクラス: クラス 1、クラス 2 のそれぞれのサブクラスを発表	29
EU: 医療デバイス 規制枠組みの現況、現行指令を置き換える提案等	30
EU: 一般製品安全指令 GPSD と、セクター特有の法制 低電圧指令等との関係	31
EU: CENELEC: 新規格リスト	32
EU: ETSI: 新規格リスト	34
オーストラリア: EMC 規格リスト更改、EN 55032: 2012 新登場	35
中国: CNCA: 2014 年第 23 号公告: CCC 強制製品認証実施規則を全面的に改訂	36
中国: CQC: 携帯式電子製品用リチウムイオン電池と電池パックの安全認証規則の改訂	37
中国: CQC: 低圧セットスイッチ設備と制御設備シェルボディの認証規則の改訂	37
中国: 新規格リスト	38
台湾: 預告修正「電動式食品グライнда商品の検査関連規定」を修正する通知	40
台湾: 「低圧三相誘導モータ商品の検査関連規定」の修正を通知	40
台湾: 国際電気規格 IEC 60335 パート 2 シリーズ規格の地域別相違点の表を修正	40
台湾: 新規格リスト	40
韓国: 有線設備の適合性評価処理の方法についての改正(案)の意見募集	41
総務省: 電波環境協議会「医療機関における携帯電話等の使用に関する指針等」の公表	42
総務省: 端末機器の技術基準適合認定等に関する規則の一部を改正する省令案	43
総務省: 意見募集: 3.5GHz 帯への第 4 世代移動通信システム(LTE-Advanced)の導入	43
経済産業省: 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈について: 9 基準が変更	44
コスモス・コーポレーションからのご案内: 試験設備のご案内(塩水噴霧)	15
ちょっといっぱく 小クイズコーナー CCC 認証実施規則改訂について	23
社長の独り言	45

IEC: 規格解説: IEC 61000-4-5 Ed. 3.0 (2014-01) サージイミュニティ試験

「IEC 61000-4-5 Ed. 3.0 (2014-01) 電磁両立性 (EMC) Part 4-5: 試験及び測定技術 サージイミュニティ試験」が 2014-01 付で、発行された。

- 試験すべきポートのタイプにより、二種類の組み合わせ波形発生器が規定されている。1,2/50 μ s 組み合わせ波形発生器と、10/700 μ s 組み合わせ波形発生器である。後者は、屋外対称通信線への接続を意図したポートを試験するのに使用される。本第 3 版では、規制的付属書 Annex A が、本主題専用に振り向けられている。1,2/50 μ s 組み合わせ波形発生器は、その他の全ての場合に使用される。両波形の定義に変更があった、要注意。

IEC: ビッグデータ、大きな未来: 新たな ISO/IEC JTC1 研究グループ設置

- 最近、ISO/IEC JTC (合同技術委員会) 1: 情報技術は、ビッグデータにおける標準化の役割を詳細に調べ、また将来の規格開発のための勧告を行うため、ビッグデータに関する ISO/IEC JTC 1 (BD SG) 研究グループを、設置した。

USA: FCC: KDB: 機器のラベル表示及びユーザ規則情報を提供するガイドンス(2/3)

FCC OET ノレッジデータベース KDB より

- パート 15 及びパート 18 規制下機器のラベル表示、及びユーザ情報に関するガイドラインの内容を解説

USA: DOT: NHTSA: 連邦モータ車両安全規格: 車両 - 車両 (V2V) 通信

- 軽車両 に対し車両 - 車両 (V2V) 通信 能力を要求するために、新規連邦モータ車両安全規格 (FMVSS), FMVSS No. 150 を制定することを提案する規則制定手順を、開始する。

EU: 新三指令 EMC 指令、低電圧指令、無線機器指令 比較表、一部抜粋

- いくつかの製品群指令を新法制枠組み (NLF)へ 調整するパッケージが検討されて来たが、2014 年 3 月 29 日付けで新 EMC 指令 2014/30/EU、新低電圧指令 2014/35/EU 等 8 指令が発行された。この改訂発行の最大の目的は、2008 年に導入された NLF への整合である。
- また同じ目的を以て、新無線機器指令 2014/53/EU が 2014 年 5 月 22 日発行され、新法制枠組みに調整された。本比較表は これら三指令間の主な違いおよびそれぞれの指令の旧指令からの違いを簡明にまとめようとするものである。

EU: R&TTE 指令傘下の製品に対する EMF 要求事項に関するガイダンス: TGN 17

- 本文書の主要目的は、R&TTE 1999/5/EC 指令の 3.1a 項のもと EMF 要求事項への適合を実証する方法に関してのガイダンスを、提供することである。EMF の共通規格 EN 62311 は、LVD 及び R&TTE 指令両者の下 整合化されているが、これは、EMF 要求に対して、適合の推定を、与える。しかし、適合の推定を提供する多くの規格が存在し、製品規格の適用は、共有規格に優先する。本資料は、適用規格の決定、SAR 測定が適用されるかの決定に対するガイダンスを提供する。

経済産業省: 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈について: 9 基準が変更

社長の独り言

平成 26 年 8 月 22 日
濱口 張馬

お盆休みも終わり、皆様いかがお過ごしでしょうか？休暇中の長距離移動や行列に並ぶことにどうしても耐えられない私は、今年も地元を満喫し家族サービスとは？との宿題を子供より頂いております。答えはいつも来年こそはですが・・・。

さて、休み明けはメール確認等に追われた方も見えるのではないのでしょうか？私もその一人で、溜め込まないように休暇中にも確認しようと思うのですが、夏休みの宿題を最終日まで持ち込むタイプだった私の性格はどうも改善されていないようです。メールを確認していると、日本のお盆とは縁の無い、海外からのメールが目立ちます。日本が休みであることは認識頂いているので、休みを楽しんでいるか？といった挨拶から始まる内容が多く、毎日ゴロゴロしてましたと海外の方に返信したら、こういった反応を示すかを試したくなる気持ちを抑えつつ、少し話を盛って返信作業を無事終える事ができました。

話がお盆前に戻るのですが、コスモスでは連休前に社内の大掃除を実施する事が恒例となっています。昼過ぎから開始し、早く完了できれば定時前には解散できるとの雰囲気会社が包んでおりますので、他部署への応援連携等の動きは日々の業務にも生かして欲しいほどの能力を発揮してくれます。同じ目標（明日から連休・早く帰る）に向かって自主的に行動・・・すばらしい。これを業務にも生かせるように仕向ける仕組み作りが私の大きな役目でもあり、勉強中です。

そのヒントを、わが子の携帯ゲームに対する集中力を勉学にも発揮させる事ができればという点から導き出そうと日々観察を続けておりますが、つつい注意してしまいますね。
注意、きっとこれもヒントなのでしょうね。良い意味で働く事に夢中になりたいですね。

● ニュースレターの内容

本誌は、EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation) 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国际機関、並びに、FCC UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション 業務推進部まで sales@cosmos-corp.com

Tel 0598-30-5225

Fax 0598-30-5571

- 発行：年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格：各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購入案内は、<http://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC& Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2014-09-01 (No. 57)

発行所： 株式会社コスモス・コーポレイション 松阪事業所 <http://www.safetyweb.co.jp/>

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地

発行人： 濱口張馬

編集人： 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2014 株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。